

Health Psychologist

日本健康心理学会

2015/7

号外 Ψ

ヘルス・サイコロジスト

速報 第4期理事長（代表理事）就任にあたって



竹中晃二（早稲田大学人間科学学術院）

この度、第4期理事長（代表理事）に選出されました（任期：2015年6月～2017年3月）。ここに抱負を述べてご挨拶と致します。

本学会は、第2・3期の理事長であった田中宏二先生（元岡山大学副学長、現広島学園大学副学長）のリーダーシップによって、財政的に健全で、しかも内外に向けて風通しがよく、透明感のある団体に生まれ変わりました。その後を継ぐ私の任務は、これからの2年間、先人が築いた土台の上に立ち、健康心理学、また健康心理学会のプレゼンスを今以上に高めることだと考えています。以下、健康心理学、また学会のプレゼンスを高めるために行うべき内容を挙げます。

1. 基盤の整備：健康心理学のアイデンティティの確立
 - 1) 保健・医療・福祉分野における心理学的研究推進
 - 2) 疾病管理、疾病予防、およびヘルスプロモーションにおける介入研究の充実
 - 3) 医療・保健・福祉行政への政策提言
2. 現在の学会活動のさらなる充実
 - 1) 学会内の研究誌および書物の出版
 - 2) 学会活動の活性化
 - 3) 各種表彰の見直し
 - 4) 広報活動の活性化
3. 資格制度の充実、保健・医療・福祉領域における健康関連職従事者、および若手研究者の育成
 - 1) 健康心理士の職業能力の開発
 - 2) 健康関連職従事者への健康心理学研修
 - 3) 若手研究者の育成

4. 高度な研究活動の活性化

- 1) 国際誌への投稿の奨励
- 2) 国際的研究の活性化

5. 未来志向の検討

- 1) 各種委員会をまたがる連絡組織の開設：学会活性化特別委員会の活性化

以上、これらの内容については、第28回大会初日の会員集會にて説明します。いまは多くの抱負をもって、理事長の仕事を開始しますが、これらの実現に向けて常任理事・理事の方々とともに努力したいと思います。皆様も学会活動に積極的に参加していただき、一緒に学会のプレゼンスを高めていきましょう。

経歴：1952年大阪生まれ。早稲田大学教育学部卒。ボストン大学大学院博士課程修了。Doctor of Education（ボストン大学）、博士（心理学）（九州大学）。関西学院大学、岡山大学を経て、現在、早稲田大学人間科学学術院教授。

嗜好・趣味：時代小説、夕食時のきゅっと冷えた白ワイン、だらだらジョギング

第4期常任理事会役務担当

常置委員会	特別委員会
機関誌編集：嶋田洋徳	記念誌出版：島井哲志
国際：津田 彰	ACHP 2016：野口京子
研究推進：島井哲志	資格制度：山田富美雄
資格認定：鈴木 平	倫理指針検討：鈴木 平
研修：山田富美雄	学会活性化：大野太郎
財務：田中共子	事務局関連
広報：大野太郎	事務局長：岸 太一
本明記念：嶋田洋徳	事務局次長：山蔦圭輔